

叙勲 褒章

顕著な功績を挙げた人などに贈られる秋の叙勲・褒章と、危険な職務に長年従事した人に贈られる危険業務従事者叙勲の受章者が発表されました。市内からは、14人がその荣誉に輝いています。



旭日小綾章
(木材業振興功労)
小野田 富男さん(78)
水沢区宇字寺脇

昭和48年、小野田製材所(現：株式会社オノダ)社長就任。県木材産業協働組合理事長など歴任、東日本大震災仮設住宅建設に必要な材料の供給体制整備に尽力されました。



旭日双光章
(地方自治功労)
石川 正人さん(80)
江刺区八日町

地域の人々に推され平成3年、旧江刺市議会議員に初当選。11年から15年まで副議長を務めるなど、4期14年半にわたり市議会議員として市の発展に貢献されました。



旭日双光章
(測量業振興功労)
加藤 清虎さん(70)
江刺区伊手字柵和

昭和43年、株式会社東開技術の前身である田端工務店に入社。現在は同社4代目社長。また県測量設計業協会副会長も務め、業界の発展と地位向上に尽力されました。



旭日双光章
(保健衛生功労)
鷹鷲 研一さん(78)
水沢区宇字川原小路

昭和46年、水沢区内に皮膚科医院を開業。水沢医師会の役員、県医師会常任理事、平成12年には県医師会副会長などを歴任。地域医療の発展に尽力されました。



瑞宝小綾章
(教育功労)
横尾 尚芳さん(72)
水沢区宇字龍ヶ馬場

「人のために」という高校時代の教師の言葉に感銘を受けて、昭和42年、高校教員に。以来35年間、水沢工業高校などで生徒の育成に尽力されました。



瑞宝单光章
(鉄道業務功労)
大山 孝さん(85)
前沢区宇字下小路

若いころから鉄道に憧れ、昭和18年、日本国有鉄道仙台鉄道局に入社。車両の保守点検作業に長く携わり、安全第一で乗客を目的地まで運ぶため尽力されました。



瑞宝单光章
(消防功労)
菊地 昭治さん(86)
江刺区愛宕字海老島

昭和18年、出征した先輩に託され予備団員を経て、21年に警防団に入団。54年から58年まで旧江刺市消防団分団長を務めるなど、地域の消防活動に尽力されました。



瑞宝单光章
(消防功労)
佐野 吉郎さん(85)
江刺区米里字小沢

自身の結婚とほぼ同時期の昭和23年、消防団に入団。「何をやるにも人に負けないような気持ちで一生懸命に」を信条に、地域の消防活動に尽力されました。



瑞宝单光章
(統計調査功労)
高橋 正巳さん(84)
水沢区宇字名残

昭和40年から国勢調査や工業統計調査など、48年間にわたり統計調査に従事。「相手の立場に立った調査」を信条に71回の調査でその職務に精励されました。



藍綬褒章
(交通安全功績)
海鋒 守さん(68)
江刺区南町

平成11年、江刺地区交通安全協会会長に就任。「信頼・協調」を信条に、31年間、交通事故防止に向けた活動に尽力されました。「周囲の協力に感謝」と語りました。



藍綬褒章
(防犯功績)
村上 徳也さん(78)
水沢区宇字南大鐘

昭和60年に水沢南地区防犯協会を設立。現在も地域パトロールや広報活動で地域の安全に目を光らせ、巧妙化した現代の犯罪に合った情報提供を心掛けています。



瑞宝双光章
(警察功労)
斉藤 主税さん(70)
水沢区佐倉河字竜石

昭和37年に県警入り。平成15年に退職するまで交通部門で活躍。希望して釜石署での警備船勤務も。「地域の人との対話」を信条に、地域の安全に尽力されました。



瑞宝双光章
(警察功労)
佐藤 敏明さん(70)
水沢区佐倉河字石橋

昭和36年に県警入り。平成15年に退職するまで鑑識で長く活躍。単身赴任も多くある中で「辛抱しながらでも一生懸命」との気持ちで警察業務に尽力されました。



瑞宝单光章
(警察功労)
今野 瑞雄さん(71)
胆沢区小山字尼沼

昭和42年に県警入り。平成15年に退職するまで主に刑事部門で長く活躍。「常に相手の立場を考え誠実な対応」をモットーに警察業務に尽力されました。

祝 百歳おめでとう

市は、10月に満百歳を迎えた5人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

細川キヨミさん 前沢区白山字川岸場 同区生母に生まれ、22歳で故・勝治さんと結婚。5男3女をもうけ、孫14人、ひ孫13人、やしやご4人に恵まれました。勝治さんが亡くなった後は、女手一つで子どもたちを育てました。どんなときも笑顔を保ち、やさしい明るい性格の持ち主のキヨミさん。長寿の秘訣は、明るく笑顔でいることです。



笑顔で記念品を受け取るキヨミさん

高橋 一郎さん 水沢区羽田町字森 現住所地に生まれ、27歳で故・トキワさんと結婚。



ケーキのろうそくの火を吹き消した一郎さん

3男1女をもうけ、孫7人、ひ孫12人に恵まれました。長年、機械加工業に携わり、自身が設立した製作所で昨年まで旋盤加工の作業をしていました。働き者だったことが長寿へとつながり、日常生活はすべて自力で行うという一郎さん。お祝いに訪れた職員らに果物を勧めてくれた優しい一郎さんです。



お祝いの品を受け取るハツミさん



お祝いの品を受け取るチハ子さん



伊藤義明支所長と談笑するコヨさん

三島ハツミさん 江刺区伊手字新田 同区米里に生まれ、20歳のころ、故・末人さんと結婚。2人の息子を育て孫1人、ひ孫1人に恵まれました。若いころ和裁を習い、

丹前などをよく作っていたそうです。長寿の秘訣は規則正しい生活を送ること。今でも身のまわりの掃除や洗濯も少しやるそうで「こんなに長生きできると思っていなかったので夢みたい」とはつきりとした口調で話していました。菊地チハ子さん 衣川区大坂 同区川西に生まれ、18歳で故・豊治さんと結婚。2男2女をもうけ、孫12人、ひ孫19人に恵まれました。若いころは、民生児童委員をはじめ、婦人会など地域のさまざまな役員を歴任しました。一番の楽しみはデイサービスに参加すること。「前向きな気持ちで今を楽しむことが長寿の秘訣です」と笑顔で話していました。